

# 兵庫県立大学AP事業成果報告

## —環境人間学部における取組—

兵庫県立大学  
横山真衣

### 1 はじめに

本学では、平成28年度～令和元年度まで環境人間学部が先導的に事業を推進し、令和2年度以降に取組の成果を全学展開する。環境人間学部は、1学年がおよそ200名の学生で構成される、文理融合型の学際的な学部である。学生は2年生から4つの系（専門コース）に配属されるため\*、入学後約1年間かけて自身の専門選択について考えることができる。

\*食環境栄養課程を除く

### 2 環境人間学部 DP ルーブリック

環境人間学部のディプロマポリシー（以下、DP）の達成度を評価するために、以下3つの手順で、環境人間学部DPルーブリックを開発した。（1）学生の成長モデルを描き、5段階の各レベルの水準を定義した。成長モデルは「仕組み」軸と「工夫」軸の2軸から成っており、「ものごとの仕組みを理解した上で、行動に工夫を加える」という目標を表している。（2）環境人間学部DPを13の力として具体化した。（3）13の力について（1）の5段階の各水準に合わせて記述した。

### 3 中軸科目における学部 DP の評価

環境人間学部では、学部の中軸となる科目として、少人数制で演習型の6科目を設定している（1年次：「基礎ゼミナール」「環境人間学ゼミナール」、2年次：「環境人間学演習Ⅰ」「環境人間学演習Ⅱ」、3年次：「専門ゼミナール」、4年次「卒業研究」）。これらの科目においてDPの達成度を評価するために、環境人間学部DPと各科目との対応を明確化した。そして、環境人間学部DPルーブリックをメタルーブリックとし、各科目の成績評価指標を作成した。

### 4 eポートフォリオ「My ログ—自分デザインサポートシステム—」

学生の自律的な学修とDP達成を促進するために、eポートフォリオ「My ログ—自分デザインサポートシステム—（以下、My ログ）」を開発し、同システムを活用した学修支援を行った。My ログの主な機能は以下の3つである。（1）環境人間学部DPスキルチェック：環境人間学部DPルーブリックを使って学生が13の力を5段階で自己評価する機能、（2）プロジェクトシート：学生が力を入れて取り組んだことをストーリーとしてまとめる機能、（3）ラーニング・ログ：授業で作成したレポート、プレゼンテーション、作品などを蓄積し、学修履歴を残す機能。学修支援は1年生前期の必修科目「環境と人間」の授業内で行った。授業内での目的は、学生が環境人間学部DPと伸ばす力を知り、自己評価と学修のふりかえりを通して力を伸ばすことを意識することであった。

### 5 学修履歴証明書

社会に向けた学修成果の可視化に関する資料として、学修履歴証明書を作成した。本証明書は、My ログのラーニング・ログ機能にて、教員から提出を認められた課題の、科目名・タイトル等を一覧化して発行するものである。本証明書は、学生が就職活動をする際、履歴書やエントリーシートと一緒に提出することを想定している。今後、「学修成果の質保証」のために、各授業科目の成績評価を付与する仕様に変更する予定である。